

はじめに

今年度から「磐田市市民活動センター通信」・「男女共同参画情報紙」を共同で発行することになりました。創刊にあたり、市長に「協働のまちづくり」と「男女共同参画」について聞きました。

市長インタビュー

～市長が語る 協働のまちづくり・男女共同参画～

●市民活動やまちづくりに 参加したことはありますか？

皆さんが取り組んでいる活動とは少し違いますが、私の地域社会へのデビューはPTAからで、楽しい活動でしたよ。私は男女共同参画や市民活動というに限られたジャンルのイメージを持つ方が多いと思いますが、どんな活動であれ“市民活動”であると思っています。

課題があったらみんなで汗を流して取り組むというのが基本だと思うし、定義があるからこのようにしなければいけないとか、定義から外れた人は参加しないというのではなく、**市民活動はもっとオープンなもの**だと思うんですよ。誰もがそれぞれの思いで気軽に入っていけるようなイメージがこれから**は特に必要ではないでしょうか。**

●磐田市は協働のまちづくりを推進していますが、 協働することでどのように良くなると感じますか？

「自分が強制的に動かされる」という思いを持つての間は何も進まないと思っています。人のために少しでも汗を流そうと皆さんが意識するだけでこのまちが変わるなって思っているんです。その啓発はなかなか難しいんですけどね、言い続けることが大事だと思います。

行政では「何でもできる時代ではないので協働で…」と言いがちですが、そうではないと思っています。皆さんがいろいろな思いを持って活動していく中で、「課題の解決策を提案していただき、それを行政がバックアップして一緒に課題を解決



●市長が考える理想の男女共同参画とは何ですか？

「男女共同参画」は社会のあらゆる分野において推進していかなければならないものです。「男でも女でもこうするべきだ」という「べき論」ではなく、ともに「支え合う」「みとめ合う」ことが基本だと思います。意識しなくても、自然な中でそれぞれの意見を尊重し「自分らしさ」を大切にして、「今より生き生き暮らせる社会」になるようになればよいですね。「磐田市に住んでよかった、磐田市を“終の棲家”（ついのすみか）としたい」と思ってもらいたいです。

●市長が実践している男女共同参画は どんなことですか？

実践ですか？できる範囲で家事をしていますよ。中でも、私は「おしるこ」作るの上手ですよ。妻が風邪をひいて寝ていたら、私が家族の夕食を作るのは当たり前だと思っています。苦労かけた分、私は常に妻に「感謝」しています。共に支え合って、喜びを分かち合いながら生きています。

●市民のみなさんへ一言

市民の皆さんが楽しみを持って暮らしてほしいと思っています。「今、自分は幸せな環境の中にいるなあ」そう思えるようなまちにしたいし、苦しい時支え合っていけるようなまちを作りたいですね。ですから「支え合う」とか「声をかけ合う」と言うのをキーワードにして「子育てするなら磐田」と言われるようにしたいと思っています。「その力を貸してほしい」というのがメッセージです。



しましょう」というまちができればいいと思います。財政力の豊かさも大切ですが、人間力の向上を目指していけば自然にいいまちになると思っているんですよ。

みんなの活動応援講座 Part.1

「効果的なプレスリリースの手法」開催報告

日時 6月16日(土) 10:00～11:30

会場 市民活動センター交流スペース

講師 中日新聞磐田通信局 宮沢輝明氏



市民活動をしている団体が、活動の意義を知っていただくため、どうしたらマスコミに取り上げてもらえるかなど記者にポイントをお話していただきました。

新聞社への取材依頼は、内容を要約したメモがあるとよい。チラシを使って依頼する場合はタイトルを見ただけで内容が想像できるものがよい。分かりにくいカタカナ用語は避ける。時流に乗ったもの、時宜を得たもの、目玉があるものなどが記事に載りやすいということでした。最後に、参加者にチラシを作成してもらいプレスリリースに使う場合のアドバイスをしました。

アンケートでは「受講者から話を引き出しながらの進め方で、自分たちに必要な内容を聞くことができ良かったです」、「要点を分かりやすく教えていただいたので、漠然としていたことが整理されました。話の内容も楽しかったです」と好評でした。

お知らせ

お問い合わせ・お申し込みは、
磐田市市民活動センターへ

TEL/FAX 0538-36-1890
E-mail : iwata-npo@za.tnc.ne.jp

1 みんなの活動応援講座 開催予告

Part.2 デジカメ活用術(初級編)

デジカメからパソコンへデータを取り込む方法と、そのデータを活用してチラシなどを作成する簡単な方法を覚えよう!

◆日時: 8月4日(土) 10:00～12:00

◆会場: 市民活動センター

◆参加費: ¥500(資料代含む)

◆対象者: パソコン、デジカメを持参できる方
文字入力のできる方

◆定員: 15名

◆持ち物: パソコン<Word2007>
充電済みのデジカメと接続コード

part.3 facebook活用術

◆日時: 9月29日(土) 10:00～12:00

part.4 ブログ開設講座

◆日時: 11月17日(土) 10:00～12:00

2 あなたの力で地域を元気に! まちづくりサポーター

～依頼主とサポーターの双方にメリットがあります～

●●“まちづくりのお手伝いをする”会員募集中●●

●ボランティア活動を紹介します。気に入った活動に参加しましょう。お気軽に登録してください。

●●“サポーターに手伝ってほしい”依頼主募集●●

●イベントや行事のお手伝い、いろいろな特技を持ったサポーターを紹介します。まずは「のっぽ」へご相談ください。
※個人からの依頼は対象になりません。

●●●●“まちづくりサポーター養成講座”●●●●

◆日時: 8月18日(土) 13:30～

◆会場: 市民活動センター

◆対象者: まちづくりサポーターに興味のある方

3 協働シンポジウム

◆開催日: 12月9日(日)

◆会場: いプラザ

4 市民活動・NPO出前講座

NPOに関するご相談に応じます。ご連絡ください。

先進地視察研修



● 知多市市民活動センター ● 6月21日(木)

平成19年1月、公設民営でオープン。コンセプトは「市民協働による市民が市民を育てる市民活動推進の総合拠点施設」です。総合ボランティアセンター、NPO法人地域福祉サポートちた、NPO法人市民大学ちた塾と行政との協働体制で運営しています。まちづくりの人材を①個人の生涯教育、社会参加の第一歩(ちた塾)②ボランティア活動、社会貢献の体験(総合ボラセン)③NPOなど組織的社会貢献の実践(サポートちた)で育成支援しています。同じ建物の中にそれぞれの特色を生かした組織が関わっている点が魅力的でした。



● NPO法人地域福祉サポートちた ● (平成10年5月設立)

知多半島の各市町村で在宅福祉活動をしていた人たちにより「ちた在宅ネット」として誕生しました。その後、介護保険制度導入をきっかけに地域福祉を中心とした市民活動の中間支援機関となりました。その主要な5事業(人財育成・研修事業や調査・研究・提言事業など)は、当センターにとっても目標とする内容でした。

はじめの一步

市民活動団体実態調査にご協力ください!

静岡県の「ふじのくにNPO活動基金～新しい公共の場づくりのためのモデル事業～」を行政との協働のもとで、今年度受託することになりました。

市民活動推進のため、「市民活動団体実態調査」を行います。活動している市内の団体にアンケート用紙を発送させていただきます。その後、現場に出向いてのヒヤリング調査も行います。皆様のご協力をお願いします。

調査結果はデータ化し、市民・行政・事業者が活用できる方向でまとめる予定です。情報のネットワーク化を進めることで、「磐田が好き!磐田を元気に!」をめざして活動する方々をはじめとしたよりよい関係づくりをしていきましょう。

もちつもたれつ

＊ やってよかった まちづくり ＊

一般的によく使われている「まちづくり」という言葉ですが、実は「コレ」という定義はありません。磐田市では「より良好な地域社会づくり」と位置付けています。簡単に言えば、自分の住んでいる地域をもっと住みやすくしようということですね。

では「協働」の意味についてはどうでしょう。読んだとおり「協力して働く」ことで、市民活動団体(自治会やNPOなど)と事業者、そして行政が協力して行う活動です。

“協働”と“まちづくり”をつなげると「協力して、もっと住みやすいまちにしよう」という意味になります。

市民活動推進課

Vol.1 協働のまちづくりって何だろう?

● 協働のイメージ



男女共同参画センターより

男女共同参画社会をめざして

男女が共に生き生きと、だれもが主役の磐田へ

～気づき、話し合い、学ぶ、そして学んだことを活かしましょう～



家庭

見直そう、家庭の中の役割分担
一人ひとりがまず自立
家族のみんなで、思いやり、支え合いを



仕事

だれもが働きやすい職場づくりを
私のチャレンジは、社会のチカラ



学び

家庭、学校、職場、地域にある、
男女の偏りに気づく力をつけましょう
考えよう、自分らしい生き方
認め合おう、それぞれの生き方



地域

まず、地域へ参加しましょう
見直そう、地域の中の役割分担
地域は男女が共につくるもの



平成24年度 男女共同参画表現コンテスト

絵画・標語
作品募集

男女共同参画を表現した絵画・標語作品を募集します。

平成23年度 最優秀賞作品

応募について

- ◆絵画…八つ切り画用紙で、技法・画材は不問。
◆標語…用紙は自由

※いずれも自作・未発表の作品。各部門1人1作品に限る。

- 作品タイトル(絵画のみ) ○年齢
○郵便番号 ○性別
○住所 ○電話番号
○氏名(ふりがな) ○学校名・学年(在生学生のみ)

を記入し、持参または郵送で“ともしあ”へ。
(標語はFAX、Eメール可)

締切 平成24年9月15日(土)17時必着

対象 市内在住、在学及び在勤の方

★応募者には参加賞あり。入賞者には表彰式、記念品あり。

応募先 磐田市男女共同参画センター“ともりあ”

〒438-8601 磐田市森岡150

TEL : 0538-36-3161 FAX : 0538-36-3345

E-mail : danjo@city.iwata.lg.jp

繪畫部門



標語部門

みとめ合い 男女の持味 活かせる社会

「ともしあ広場」開催中

「ともしあ広場」は、市民の皆さんと、ともしあ利用登録団体・サポーター・託児サポーターとの交流の場です。

今年度のテーマ

～被災地に想いを寄せて～

日時 毎月第2金曜日 午前10時から
(イベント内容により変更あり)

場所 “ともしあ”交流スペースにて
♪ぜひ、お気軽に御参加ください。



【これまでの活動紹介】

日	内 容	講師(利用登録団体ほか)
5月11日	バルーンアート教室	ともしあバルーンの会
6月 8日	円空仏作り教室	遠州ふくでohoかっぱ村代表 朝比奈正典氏
7月13日	救護・防災教室	磐田救護勉強会・災害VCチーム豊田

ともしあ はこんなところ

1 学習・研修の場を提供しています

～気づき、考え、行動する～

- 男女共同参画表現コンテスト
- 男女共同参画講演会
- 男女共同参画に関する出前講座
- 「パパママ講座」「女性講座」「シニア講座」など



【パパぢからUP講座】

2 情報収集・提供を行っています

～見つけて、集めて、広げる～

- 書籍やDVDなどの閲覧・貸し出し
- 情報紙の発行
- 全国のセンターからの情報収集及び提供



【図書スペース】

3 交流・活動支援の場を提供しています

～出あう、ふれあう～

- 市民団体やサポーター同士のネットワークづくり
- サポーター活動(新聞クリッピングなど)支援



【クリッピング活動】

4 相談事業を行っています

～相談する～

- 専門の相談員による男性電話相談
毎月第2土曜日 午後2時～4時
専用電話番号 0538-36-3347

「ともしあ」という愛称は

男女が共に生き生きと暮らせる社会をめざす場(エリア)であり、その活動にあかりをともしセンターになることをイメージしたもの。ひらがなで表記し、幅広い年齢の方から親しまれるセンターを意識(イメージ)した愛称です。市民の公募作品の中から選ばれました。

【場 所】磐田市豊田支所内 1階

【開場時間】8:30～17:00

【休 場 日】日曜日、祝日、年末年始

♪土曜日も開場しています。

ぜひお立ち寄りください。





ヤマハララグビー NEWS

～ホームタウンのラグビーチームとして～



ラグビートップリーグ9月開幕 ヤマハスタジアムに皆で行こう!!

ごあいさつ

磐田市の皆様、こんにちは!今シーズンから主将に就任しました笠原雄太です。今年度も3回(8月、11月、2013年3月)に渡り、ラグビーの情報を紙面に、お伝えしていきます。この紙面を読んでラグビーに興味を持っていただけたら幸いです。今年度も熱い声援をよろしくお願いします。

主将 笠原 雄太



ラグビーってどんなスポーツ?

1チーム15名がピッチに立つフットボール。サッカーとの違いは「ボールに手を触れてよい」ところ。ボールの形は楕円の形をしています。試合時間は前半40分、後半40分の合計80分。(ハーフタイムは10分)ボールを相手のゴールライン目掛けて持ち込み、タッチダウンすると得点に。それを「トライ」と言います。そのほかにゴールキックによる得点もあります。何よりも、体をぶつけあう迫力がラグビーの魅力そのものです。

今年のヤマハ発動機ジュビロはどんなチーム?

今年度もチームの指揮官として清宮克幸監督が指導を継続。今シーズンは笠原雄太選手が主将に、矢富勇毅選手が副将に就任し、昨年よりもハードな練習を日々、磐田市内の大久保グラウンドにて行っています。強力なスクラムを武器に、昨年のトップリーグ8位から今シーズンは一気に上位を目指します。

磐田市内の全小中学生を無料招待!

小中学生の皆様、9月上旬に各学校にて配布される「小中学生観戦招待スタンプラリーカード」を持参してヤマハスタジアムへ!

同カードをもってチケット引換券テントに行くと、入場招待券がもらえるほか、係員からスタンプを押してもらい、3試合観戦すると、その場でプレゼントがもらえます。



ヤマハララグビーファンクラブのご案内

皆でヤマハスタジアムをブルーに染めましょう!

ラグビー観戦を楽しみ、永くヤマハ発動機ジュビロを応援していただけるよう、公式ファンクラブ(年会費2,000円)に入りませんか?公式戦自由席引換券が4枚ついてくる他、会員限定のオリジナルトートバッグをプレゼントと、大変お得です。試合当日、ヤマハスタジアムに入会受付テントを設置しますので、その場でご入会いただけます。ぜひご利用ください。

問い合わせ ヤマハララグビーファンクラブ事務局
TEL 0538-32-6555

会員特典

- オリジナル会員証
- 公式戦自由席引換券4枚
★年会費で割ると
1試合分のチケットが500円とお得!
- 会報誌(年4回)
- メールマガジン
- アウェイ戦応援バスツアー、チームオリジナルグッズ: 会員特別価格

オリジナルトートバッグ



2012-2013 ヤマハスタジアム試合開催情報

節	開催日	キックオフ	対戦相手
3	9月15日(土)	17:00	NTTコミュニケーションズシャイニングアークス
7	10月20日(土)	13:00	九州電力キューデンヴォルテクス
10	12月08日(土)	13:00	近鉄ライナーズ
12	12月23日(日)	13:00	サントリーサンゴリアス

今シーズンは4試合、
ヤマハスタジアムで
迫力満点のラグビーを
楽しみましょう!



無料駐車場完備[約1500台分]



JR磐田駅より
無料シャトルバス運行します



©2006 Y.F.C. JUBILO

お問い合わせ ヤマハ発動機株式会社スポーツ推進グループ TEL: 0538-32-1196 [月～金 午前9時～午後5時まで]